

2017年4月25日

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者 齋藤篤二(ST) 松田治男(MH) 松本美和(MM)

概要

歩行名称	山陰
歩行区間詳細	スタート地点:兵庫県久美浜町(小天橋駅)
	ゴール地点:鳥取県鳥取市賀露町(鳥取港)
実施期間	2017年4月10日(月)~4月13日(木)
全歩行距離	108.2Km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	年齢	歩行日数	備考
1	リーダー	篠崎次郎	78	4	
2	記録	松田治男	66	4	
3	調査	松本明子	68	4	
4	折衝	松本美和	52	4	
5	記録	齋藤篤二	78	4	

3. 歩行の概要

	月日	出発地 ~ 到着地	歩行距離	歩行参加者	備考
1	4月10日	小天橋駅 ~ 港大橋	19.2	全員を2班に分けて歩行	
2	11日	港大橋 ~ 餘部	39.8		
3	12日	餘部 ~ 鳥取砂丘オアシス広場	39.0		
4	13日	鳥取砂丘オアシス広場 ~ ころいち(鳥取港)	10.2		
5		計	108.2		

4参加者延べ日数

4日

参加費合計

民宿	176,180 円	@35,236 円
レンタカー、ガソリン代	44,128 円	@8,826 円
歩く会納入	2,000 円	@400 円
計	222,308 円	@44,462 円
	別に各自の交通費	東京からの場合`@約 24,000 円(往復ジパング適用)

交通 行き 東京発 7:33 (ひかり 503) — 京都着 10:00 京都発 10:25 (福知山線はしだて 3号) — 福知山着 11:44 福知山発 11:45 (こうのとり 5号) — 豊岡着 (12:40)
金沢発 8:05 (サンダーバード 10号) — 京都着 10:11

帰り 鳥取発 14:54 (智頭急行スーパーはくと 10号) — 新大阪着 17:28 新大阪発 17:40 ひかり 478) — 東京着 20:40

歩行中 レンタカー利用 (豊岡—鳥取)

5. 歩行の詳細

4月10日(月) 晴れ(1班 松田、松本美和 7.0km)

12:40 京都駅にて東京組と落ち合い、はしだて号・こうのとり号にて豊岡に到着

13:50 前回の最終地、小天橋駅から歩行開始

16:00 カキの養殖で有名な久美浜湾の河口近くの港大橋近くで地元のおじさんと立ち話(久美浜湖は海と繋がっており、クロダイが釣れるそうです)、中継地点の久美浜ゴルフ場の駐車場に到着。桜並木が満開です。

16:40 レンタカーで、三原峠経由で本日の終点の港大橋に到着。2班の到着を待つ。

17:30 城崎温泉の「みつわ旅館」に到着。夕食後、下駄履きで、若葉が芽吹いたしだれ柳を眺めながら、湯の里通りにある外湯「御所の湯」を楽しむ。裏手に滝が流れる岩造りの露天風呂がある。(MH)

小天橋駅から久美浜湾沿いをのんびり歩きました。湖かと思ったら、内湾なのですね。途中、釣り人もいました。港大橋の手前で、気さくな地元の人とおしゃべり。久美浜湾では大きな黒鯛も釣れるのだそう。城崎温泉のお宿は、小さいながらも丁寧なおもてなし、お手軽会席も美味しくて評判通りでした。外湯めぐりは、夕食前に一番近い「地蔵湯」。夕食後はだいぶん迷って、昼間もたくさん歩いたお姉さんを引っ張りまわしてしまいました(本当にすみません)。野趣あふれる露天ラス天井の内湯の「御所の湯」と、洞窟風呂の「一の湯」を巡りました。川沿いの夜桜や特徴的な柳も印象に残っています。(MM)



みつわ旅館の会席

フォト港大橋から丸山川河口を望む

ゴルフ上の桜

(2班 篠崎、松本明子、斎藤 12.2Km)

13:40 レンタカーで1班と分かれ中継地に向かう。

14:10 久美浜ゴルフ場スタート

14:40 県道 11号出合い

15:00 三原峠

16:10 三原

16:50 気比

17:10 港大橋

満開でボリューム一杯の桜に圧倒されスタートする。県道 11号線の高低差 250m 道を約 1時間三原峠に上る。美しいミ

ツマタの花と香りを放つ桜に魅せられながら里に下る。三原には広い耕地があり、田圃は代掻きの準備をしていた。
(ST)

「雨せまり さくらみつまた 空澄みれ」

「水忙しし 田圃しろ掻き こうのとりに」

11日(火) 雨(1班 松本美和、斎藤 21Km)

9:10 港大橋をスタート

9:50 城崎 CC

10:50 宇日

11:20 12:00 竹野で昼食

12:30 浜須井

13:00 相谷

13:30 安木

15:00 佐津

目の覚めるような美しい(そして美味しい)朝食から始まった2日目。降ったりやんだり雨脚はそれほどでもないなか、アップダウンの大きい桜のトンネルの海岸線をてくてく歩きました。切り立った山肌に点々と何キロにもわたって続く可憐な立坪すみれは、今までの歩き旅で一番たくさん見たように思います。山菜とり(わらびに落)にも出会うが少し早いらしい。

いきなり目の前に現れたはさかり岩は迫力がありました。落ちそうで落ちないから受験にご利益があるそうです。神社で早めのお昼(蟹弁&おにぎり)を食べたあと、安木で雨宿りしながら休憩していたところがちょうど絵手紙サークルの軒先で、中にどうぞと招かれて(入らなかったけれど)絵手紙やおやつをいただきました。こういう幸せな出会も歩き旅の魅力ですね。

「絶品や おすそわけして 蟹ちらし」

「絵手紙に 幸せもらい のしつけて」

それにしても、結構タフな峠越えの道が4/22の香住ジオパークフルマラソンのコースになっていたのはびっくり。なんちゃってランナーには歯が立たないので歩くだけで十分です。2泊目のお宿は、予想を超える蟹どっさりの夕食に宿泊プラン間違っているのではと本気で心配するほどでした(このお宿はお部屋に温泉付きのお高いプランもあるので)。(MM)



さかり岩



絵手紙の女子会



かにと但馬牛の夕食

2班、(篠崎、松田、松本明子 18.8km)

- 10:00 途港大橋で1班を降ろし、レンタカーで佐津海水浴場まで移動し、歩行開始。
- 11:00 国道沿いに、沖浦漁港まで歩行し、休憩。
- 12:15 本日の宿(香住港近くの「夕香楼 しょう和」)のロビーを借りて昼食。
- 13:00 香住を出発。香住海岸は道路が通じていないので、香住高校の先から山道の国道沿いを歩行する。途中2か所のトンネルを通過し、鎧集落との分岐のバス停にて休憩する。
- 15:10 餘部鉄橋の「空の道」に到着し、1班を待つ。
- 16:00 1班と合流後、レンタカーで香住の宿に戻る。宿の温泉(塩分多し)に浸かってから、カニ尽くしの夕食と「香住鶴」を楽しむ。(MH)

12日(水) 曇りのち晴れ (1班 篠崎、松田、松本美和18.4Km)

- 08:30 餘部鉄橋まで送ってもらい、歩行を開始
- 09:20 餘部から桃観峠に向かって国道を歩き、トンネル手前で休憩する(釣鐘洞門などがある但馬御火(みほの)浦沿いは途中、落石等があり歩行困難)。峠までは山陰本線と交差しながらの歩行になるので、山桜とディーゼル機関車は格好の被写体になると思われる。但し、1時間に1本しか走っていない。
- 10:30 桃観トンネルを抜け、高速道路の建設現場を過ぎ、水仙と菜の花が咲き誇っている久谷集落から、久斗川沿いを対田集落入口のバス停まで歩行し休憩する。
- 11:30 ガソリンスタンドでトイレ休憩をしながら、浜坂市街に入り、JR浜坂駅に到着。待合室を借りて昼食。浜坂は各家庭まで温泉が引かれているとのことで、羨ましい。地名がなんと「新温泉町」だそうです。
- 14:00 12時過ぎに浜坂駅を出発。諸寄漁港を通過し、西の洞門等の景勝地を眺めながら、居組サンビーチに到着し、本日の歩行を終了した。途中、釜屋近くの海岸線道路はトンネルが出来た関係で、立入禁止になっている(岩が崩落している)。
- 14:30 2班が鳥取砂丘に到着するまでに時間がかかるとのことで、本日の宿の手前にある「山陰海岸ジオパーク 海と大地の自然館」に立ち寄り、日本海の構造と生きものに関する映像と展示を楽しんだ。
- 17:30 青々と伸びた「らっきょう畑」と隣接する鳥取砂丘オアシス広場で2班と合流後、浦富海岸の海蝕崖・波食棚などを見学し、本日の宿「シーサイドうらどめ」に到着する。その後、1,200年の歴史がある岩井温泉の「ゆかむり温泉」で外湯を楽しむ。夕食はホタテ、サザエ、カニ、ハタハタなどの「磯の炭火焼き」と地酒「瑞泉」でした。(MH)

朝食は、お宿のもう一つの魅力、併設のカフェで。出発前に、思いがけずオリジナルクッキーをいただきました。日程変更にならなかつたら泊まることになかった温かいお宿でした。朝降っていた雨は出発する頃には上がりました。ひと山越えたあたりの旧道の集落に水仙がたくさん植えられていて、種類も多く、水仙の里と呼びたいほどでした。小さな里なのに家は立派で、もしかして平家の隠れ里?などと勝手な想像をしながら歩きました。全般的に歩きやすい道で、スムーズにゴールに辿り着きました。そのあと立ち寄ったジオパークは、スタッフの皆さんが親切で、貸切で見せてもらった3D映像、ダイオウイカや足跡の化石、歩いた道の地層模型もあり面白かったです。2班と合流したあと車で巡った浦富海岸も、ジオパークでちょこっと勉強した知識で見ると、より興味深かったあです。夕食前に行った湯かむり温泉は、うっかり石けんやシャンプーのことを忘れていましたが、泣いている赤ちゃんをみんなが代わる代わるあやす様子や、鄙びた温泉町のなんだか懐かしいような匂いにほっ。これも車があればこそその楽しみですね。いたちにもでくわしました。(MM)

「外湯して ねぐらに急ぐ いたちかな」

3日目のお宿「シーサイドうらどめ」の海鮮炭火焼きは、地場のカニやサザエ、イカ、魚をわいわいしながら焼いて食べごろを見極めるのが楽しくお腹いっぱい♪(MM)

(2班 松本明子、斎藤 20.6Km)

9:10 居組サンビーチ

10:00 陸上(くがみ)

11:00 東浜駅

12:00 山陰海岸自然科学館

12:10 12:40 民宿「うらどめ」で昼食

14:10 網代

15:30 福部ふれあいセンター

16:00 砂丘オアシス ゴール

スタートは居組サンビーチ。雨が上がり、気温も15℃ほど。リアス海岸の道は上り下りが続く。東浜駅ではニュー駅舎のオープンセレモニー。営業運転控えた豪華ツアー列車「トワイライトみずかぜ」(今年の6月17日営業運転開始)が到着。地元選出の石破さん、県知事さん(「スタバはないが、すなばはある」と地元をPRした人)が来賓として下車し大歓迎を受けている。

「とりてつと 石破、すなばを 追うカメラ」

ジオパークの科学館では学芸員の説明を聞く。日本列島の生い立ち、昆虫、魚類、植物の存在を示す標本土。数百億年前、陸地の成り立ちに自然史科学の成果を知る。(ST)



餘部新橋



JR 西日本のツアー列車をバックに鳥取県知事



人尻洞門



浦富の民宿で



夕食の海鮮焼き

昼食は今日の宿「うらどめ」で落ち着いて食べる。午後は海岸遊歩道に行かずに人尻洞門まで行き、藪こぎの道をやめ引き上げて海際の山道に行く。途中出会った浦富のお年寄り（86歳）は最近連れが倒れたが気丈にも病院にも行けないことを淡々と耐え忍ぶ姿に言葉も出ない。

「身内にも 夫(つま)倒れたが 医車もなく」

網代からのルートは海岸よりの自然歩道が通行止めのため国道9号線に行く。福部ふれあいセンターはプールも併設されていて元気な住民が余暇を楽しんでいる。(ST)

4月13日 晴れ (1班 篠崎、松田、松本明子 10.2km)

08:00 全員で、鳥取砂丘オアシス広場まで移動し、砂丘を散策する。

10:00 海岸近くの砂丘で2班と別れ、一里松・有島武郎歌碑のある休憩舎まで砂丘の中を歩行する。誰も歩いていなかった。

11:00 砂丘から鳥取市内を歩行し、鳥取大橋を通過したところで休憩。

12:20 鳥取漁港にある「かろいち市場」に到着し、1班と合流し、海鮮丼の昼食とお買い物。

14:00 レンタカーで、全員で鳥取駅到着

20:30 鳥取~新大阪~金沢と移動し、無事自宅に到着する。(MH)

(2班 松本美和、斎藤 車で移動し歩行せず)

9:00 ホテル出発

9:30 ジオパークセンター

10:30 鳥取砂丘

11:00 13:10 かろいち市場

13:30 鳥取駅

今日は朝からよい天気。お宿の油浅さんと、サザエの口やサボテンのことなど、いろいろおしゃべり。朝食のとうふちくわとラッキョウに、鳥取までたどり着いたんだなあとしみじみ。改装中の砂丘ジオパーク、期待外れかと思ったら貴重なひと言「裸足の勧め」。海岸線を五感で楽しむ私たちは迷わず靴を脱ぎました。足の裏から感じる砂丘はサラサラ！この日がお天気でよかった。(MM)

「夢心地 裸足で跳ねる ジオパーク」

この先、砂漠の旅人のような1班の後姿を見送り、転がるように砂丘を走るちびっ子たちに感心しながら、お昼調査隊は市場「かろいち」へ。最初に入ったとうふちくわの店は創業慶応元年だそう。すべての商品に試食があるのにも感

動し約 2000 円も買っちゃいました。海鮮は帰る間に買うとして、隣の農産市場でもお買い物。歩き班を迎えて魚屋さん経営する店の海鮮丼を味わい、カレイやハタハタ、のどくろを買い込むと荷物はずっしり(毎度毎度懲りずに)。足も目もお腹も幸せに満たされた旅でした。(MM)



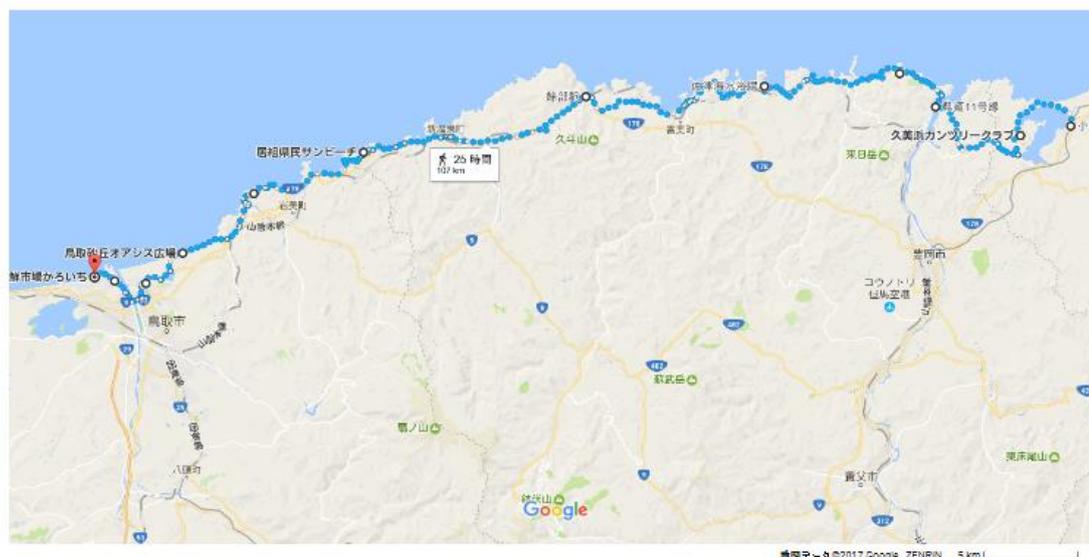
鳥取砂丘

裸足はサイコー

今回のルート略図

Google 小天桥駅 から 海鮮市場からいち

徒歩 107 km、25 時間



以上